

環境の都ニュース

2021.10.1 NO.109

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：西村日出男

編集者：安楽 裕子

「まちが人をはぐくみ、 人がまちをつくる循環」



長岡京市教育委員会教育長 西村文則

4月から長岡京市教育委員会の教育長に任命されました西村文則でございます。
どうぞよろしくお願いいたします。

小中学校における環境教育のねらいには、「環境に対する豊かな感受性の育成」、「環境に関する見方や考え方の育成」、「環境に働きかける実践力の育成」があり、本市小中学校におきましても、各教科や道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動それぞれの特質に応じて展開しつつ教科横断的に取り組んでいるところです。

その中で、西山での体験型環境教育、「子ども環境フェスティバル」や環境ポスター作製などの環境啓発型イベント、グリーンカーテンやビオトープの取組など、多くの皆様にご支援、ご協力をいただきながら充実に取り組んでまいりました。

また、学校施設の整備においても、太陽光発電設備の設置や、散水などに利用できる雨水貯留槽の設置などを進め、旧施設の改修時に電気使用量の少ないLED照明に交換するなど、環境への配慮を大切にしているところです。

ところで、今年3月に策定いたしました「長岡京市第2期教育振興基本計画」では、「まちがひとをはぐくみ、ひとがまちをつくる循環」として「新たな教育の循環」を掲げています。学校、家庭、地域の結び付きにより、それぞれの場所での学びが相互に関係し、循環していくことで、学びがより深まる、学びの成果がまち全体へと広がることは、まちの活力を生むとともに学びの環境づくりの充実につながる、その学びが学校・

家庭・地域に還元されることで人が育まれる、というものです。

子どもたちが、自身を取り巻くすべての環境に関する事物・現象に対して興味・関心を持ち、身近な事物・現象に課題を見つけ解決に向けて取り組む意欲や知識・技術を身につけ、持続可能な社会の育成に向けて責任ある行動をとり、協力して課題を解決していける力をつけていく。子どもたちにこうした力を育成するためには、学校、

家庭、地域それぞれの場における教育が適切に行われることが必要であり、そのためにも、学校・家庭・地域の連携・協働を一層強めることが大切であると考えています。

「つむぎ織りなす“環境の都”長岡京」の実現に向け、今後も学校教育において環境教育の充実に向けて努めてまいります。引き続き、皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



太陽光発電設備



グリーンカーテン

私たちは15年前よりファミリー環境探検隊に使うサツマイモづくりを西代（にしんだい）農地で行っている他、別の無農薬農園を行うグループにも参加しています。

無農薬農法に関心を持ったのは、福岡正信氏の書かれた「自然農法わら一本の革命」を読んだことが大きな要因です。40年程前の本ですが、耕さない、肥料をやらない、除草しない、農薬を使わないといった当時画期的な内容でした。植物、作物はもともと大きな力を内部に持っているのです、その力を最大限に引き出すには人間の余計な加工や技術を施すべきではないという趣旨（哲学）と私は思いました。

福岡氏が2008年に死去された後も、本が多く言語に翻訳されたこともあり、欧州のブドウづくり農家などに影響を与えています。奥海印寺にある無農薬農園の2区画をお借りし、たい肥や、竹灰、木灰、鶏糞、油粕、EM菌などを使い野菜づくりを行っています。



▲奥海印寺 無農薬菜園



数年前から環境の都づくり会議のメンバーの協力を得て、ゆりかご保育園のゴーヤカーテンづくりをしています。今年も6月3日に園と協力してプランター6個の土づくりと2階の屋上まで届く高さ8m、幅5.4mほどの大きなネットを張り、苗18本の植付けをしました。例年のことで皆さん手慣れたもので、2時間ほどで完成しました。今年の夏は雨が多く、苗は順調に生育し、夏の暑さを遮る立派なゴーヤカーテンになり、子供たちにも喜んでもらえたかなと思っています。

また、春の筍シーズンには5歳児の皆さんには筍掘りや行儀よく筍のお話を聞いて頂く機会もいただき、園児たちの成長のお手伝いができることをうれしく思っています。

因みに、竹林再生プロジェクトは夏の間休止していた竹林整備作業を9月から再開します。これまでの竹林に加え、新規に2ヶ所の竹林の整備も始まります。安全に細心の注意を払いながら地域の環境保全と“環境の都”を目指して竹林整備に汗を流します。皆さんのご協力を宜しくお願いいたします。



6月5日は世界環境デー。そして6月は環境月間でもあり、毎年、環境の都づくり会議の方と一緒に子どもたちの年齢に応じて、自然を大切に作る気持ちを育む活動に取り組んでいます。水に親しみ風を感じることでできるしゃぼん玉では、大きく膨らむしゃぼん玉に大歓声！リサイクル工作では、牛乳パックに思い思いの絵を描きオリジナルのパッチンカエルが出来上がり！カエルの姿を真似ながら楽しく活動に取り組みました。

ぶんぶんゴマでは、彩りを考えながらの色を選び、ぶんぶんゴマが完成！回し方を知っている子どもたちは、教え合う姿が見られ 繰り返し繰り返し回し、回った時は笑顔がこぼれていました。

ゆりかご保育園 園長
高橋 由紀子



ぶんぶんゴマ
ぼく、うまくまわせるヨ



大きなしゃぼん玉と遊んだヨ！

パッチンカエル
どこまで高くはねたかな

ビオトープ PJT

秋～冬のすくすく教室のご案内

PJTリーダー 神山 忠



開催日	11/13(土) 12/11(土) 1/15(土) 2/19(土) いずれも 10時～12時
場所	光明寺北側の竹林 (光明寺山門から徒歩2～3分)
当日のメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ●焚火を囲んで環境紙芝居と筍のお話 ●竹炭焼き体験 ●竹伐り体験と一輪挿し作り ●弓矢遊び ●当日のお楽しみ (参加人員は各回とも20名です。)



心地よい好季節を迎えていますが、新型コロナはなかなか収まってくれませんね。それでも私たちは何とか子供たちの心身の成長の一助になればと秋、冬のすくすく教室の開催に向けて準備を進めています。コロナ終息の兆しがない難しい状況下ではありますが、11月から来年2月にかけて竹炭焼き体験を中心に竹藪での楽しいひと時を過ごしてもらおうと企画しています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

花を咲かそう PJT

夏を過ごした花の延命に奮闘中

PJTリーダー 奥西弘武

干ばつと長雨で7月以降なおざりになっていた花壇の水遣り当番を8月から新規に組みなおし、体育館に4班+(支援学校)、公民館に2班+(公卒連)の8班体制にしました。草を刈りこみと草引きを繰り返すうちに、まばらな花々ながらなんとか花壇を維持しています。周囲の菊花が咲いて11月の花を植え付けるまで繋がるように頑張ります。夏から秋への維持には世話がかかり、この負担をいかに低減するかが課題です。



ここCOライブ PJT

一生懸命頑張りたいと願う人たちが頑張れる社会を目指して

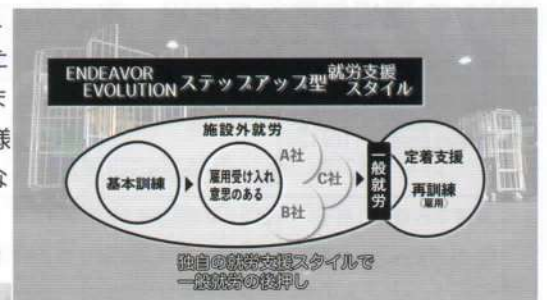
PJTリーダー 西村日出男

NPO法人 ENDEAVOR EVOLUTION は、障害がある人もない人も、人に言えない過去を背負った人もそうでない人も、「今頑張りたい、やり直したい」と願う人たちが頑張れる社会を実現するために「働く」をテーマに生まれたA型事業所です。A型事業所とは福祉の就労支援事業所で障害者の皆様と雇用契約を結んで自立に向けて支援するという事業です。そこには様々な課題があっても一生懸命生きようという人たちの姿があります。

そして企業、学校、地域とつながり、少しでも生きやすい社会の実現を目指し日々活動しています。

ENDEAVOR EVOLUTION 理事長 松浦一樹

YouTube <https://youtu.be/IBXnNDpX8x8>



長岡美装社(廃棄物収集運搬業)

犯罪・暴力のない
毎日を
つくりたい。



TEL 953-7903
FAX 953-8860



西山ものづくり たからばこ

西山の豊かな環境は私たちの宝物!

里山の自然素材にふれて、ものづくりを楽しみましょう。
「ものづくり教室」「夏休み子ども工作教室」「里山勉強会」

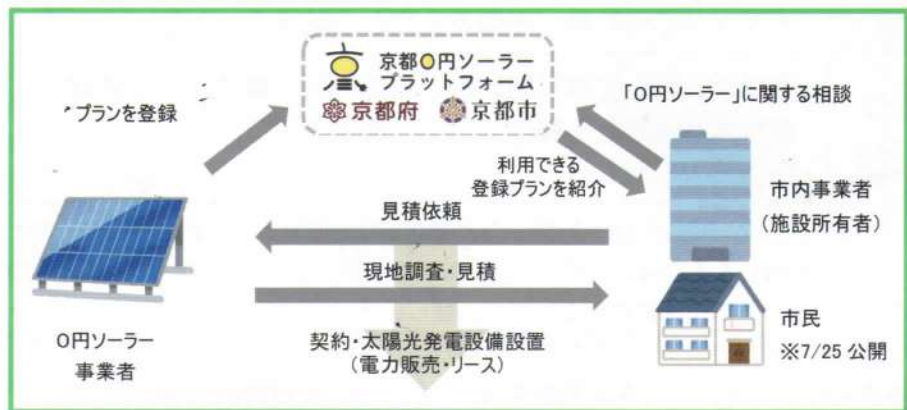
- ✂ ご興味ある方ご案内いたします。
- ✂ ものづくり企画各種賜ります。

代表・連絡先 大藪美知子 TEL/FAX 075-952-2305
E-mail takarabako@qualia-ohana.com
HP <http://takarabako.qualia-ohana.com/>



府、再エネ補助を拡充 温室効果ガス削減へ「0円ソーラー」促進

(京都新聞 9月9日朝刊掲載記事より抜粋)



2050年度までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを掲げる京都府は、再生可能エネルギーの導入支援を強化する。

住宅に太陽光発電パネルを設置する際に初期投資が不要となる「0円ソーラー」の利用を促す制度を新たに始めるほか、事業者向けの再エネ設置に対する補助を拡充する。

いずれも15日から受け付けを開始する。

0円ソーラーは『屋根貸し方式』とも言われる仕組みで、京都市と連携して取り組む。府などが指定した専門事業者が住宅に発電パネルを設置する方式で、住宅を所有する利用者は電気料金や設備のリース料金を事業者に支払うものの、初期投資とメンテナンスの費用が不要となる。

0円ソーラーは専用のサイトで申し込む。再エネ補助金は府ホームページからダウンロードした申請書類を府へ提出する。

(文責：江川宗治)



ミヤコちゃんのエコまねが 作：船越 聡

2021年環境年間行事日程 直近版(10月~12月)

	共通、広報	里山再生・西山F環境探検隊	ビオトープ	竹林再生	花を咲かそう	エコ(地球温暖化防止等)	こここCOライブ、等
10	環都ニュース発行(10/1) 環都月例会議(10/12)	森林ボランティア(10/3) 森林ボランティア(10/17)	竹炭焼き(第2、4木曜) すくすく教室小泉川(10/9予定)	市民向け体験会(第1、3日曜) 竹林整備活動(第2、4月曜)		(コロナ禍で参加予定のイベントがキャンセル)	SDGs 記事掲載 SDGs 交流会開催(10/31)
11	支援学校祭(11/3-5) 環都月例会議(11/9) 環境フェアFM出演(11/28)	西山F環境探検隊(11/7) 森林ボランティア(11/7) リース作り(11/21)	竹炭焼き(第2、4木曜) すくすく竹炭焼(11/13予定)	市民向け体験会(第1、3日曜) 竹林整備活動(第2、4月曜) 3PJT 合同例会(11/19)	西山体育館花壇整備(11/11) 公民館花壇整備(11/12)		
12	環都月例会議(12/14)	森林ボランティア(12/5) 森林ボランティア(12/19)	竹炭焼き(第2、4木曜) すくすく竹炭焼(12/11予定)	市民向け体験会(第1、3日曜) 竹林整備活動(第2、4月曜) 3PJT 合同例会(12/17)			

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。問合せは西村まで。Tel. 080-3825-2460
E-mail sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。一口年間1,000円(一口以上)

事務所：西村日出男宅内
〒617-0817 長岡京市滝ノ町2-20-6

ホームページもご覧下さい。
各PJTの活動内容と写真などがあります。



編集後記

OECD(経済協力開発機構)では2030年に向け、個人や集団の変革意欲のことをエージェンシー(agency)と呼ぶようです。「このままにしないと協働エージェンシー」「変動を超えて危機的この気候 されば我らは地域でアクト(act)」(西村)